

議会だより

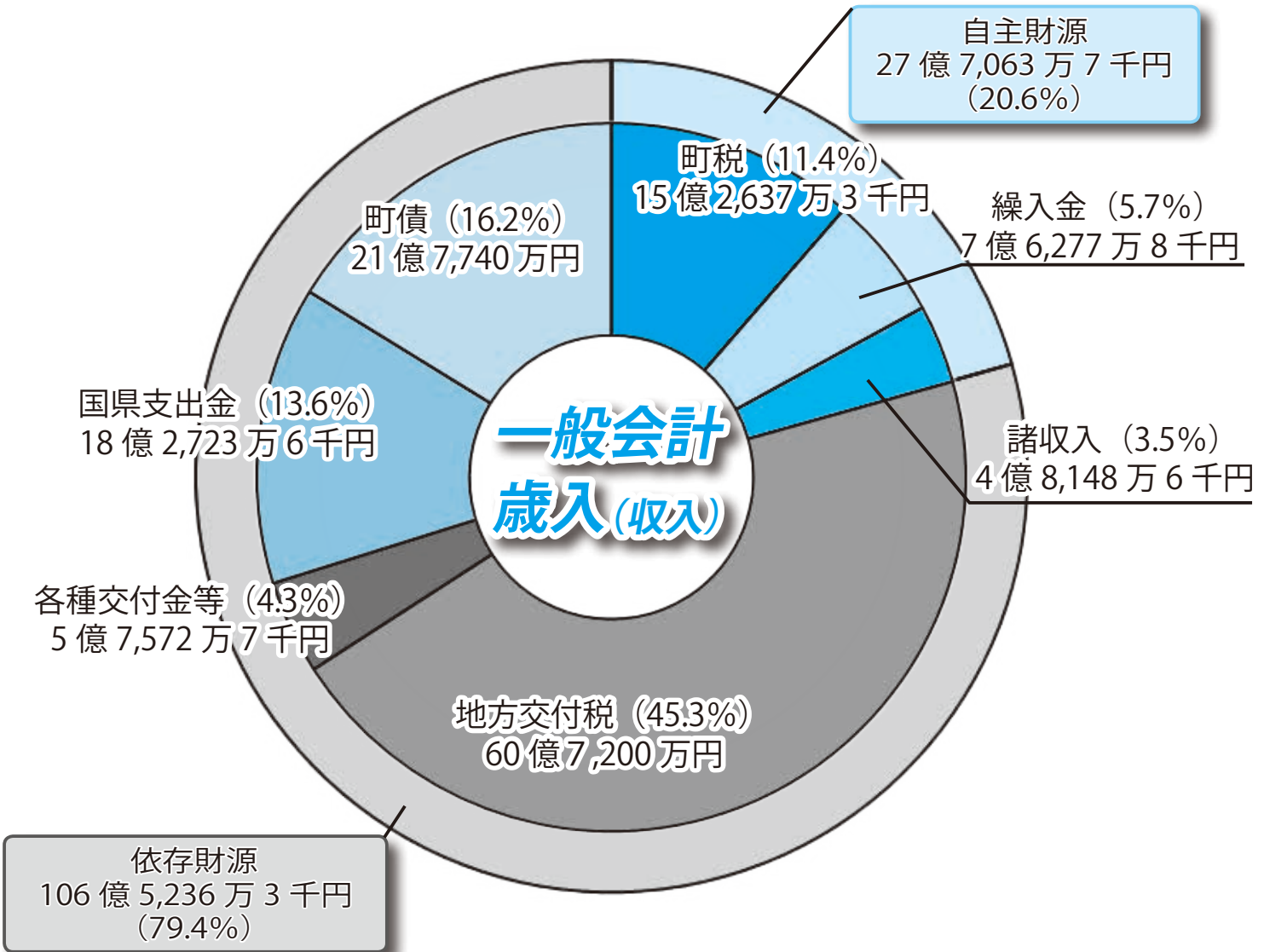


- 3月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2頁
令和2年度当初予算概要・議案審議など
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9頁
9人の議員が町政を問う
- 令和2年第1回臨時会、委員会活動報告 19頁
- 要望活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 22頁
- 行政視察受け入れ・・・・・・・・・・・・ 23頁
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24頁

新たな第三セクター
「株式会社みなみあいづ」
開所式
→23頁で紹介

265万7千円

一般会計
134億2,300万円



【当初予算のポイント】

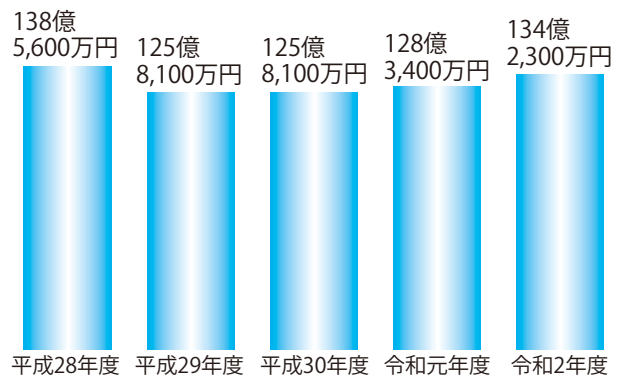
令和2年度の一般会計当初予算は、歳入歳出の額がそれぞれ134億2,300万円となりました。

前年度と比較すると、5億8,900万円の増加となりました。

本町は合併から15年目を迎え、合併特例による財政優遇措置期間が平成27年度で終了し、激変緩和期間が令和2年度で終了となります。

町の財政は地方交付税をはじめとした依存財源(79.4%)の動向に大きく左右される財源構造となっています。

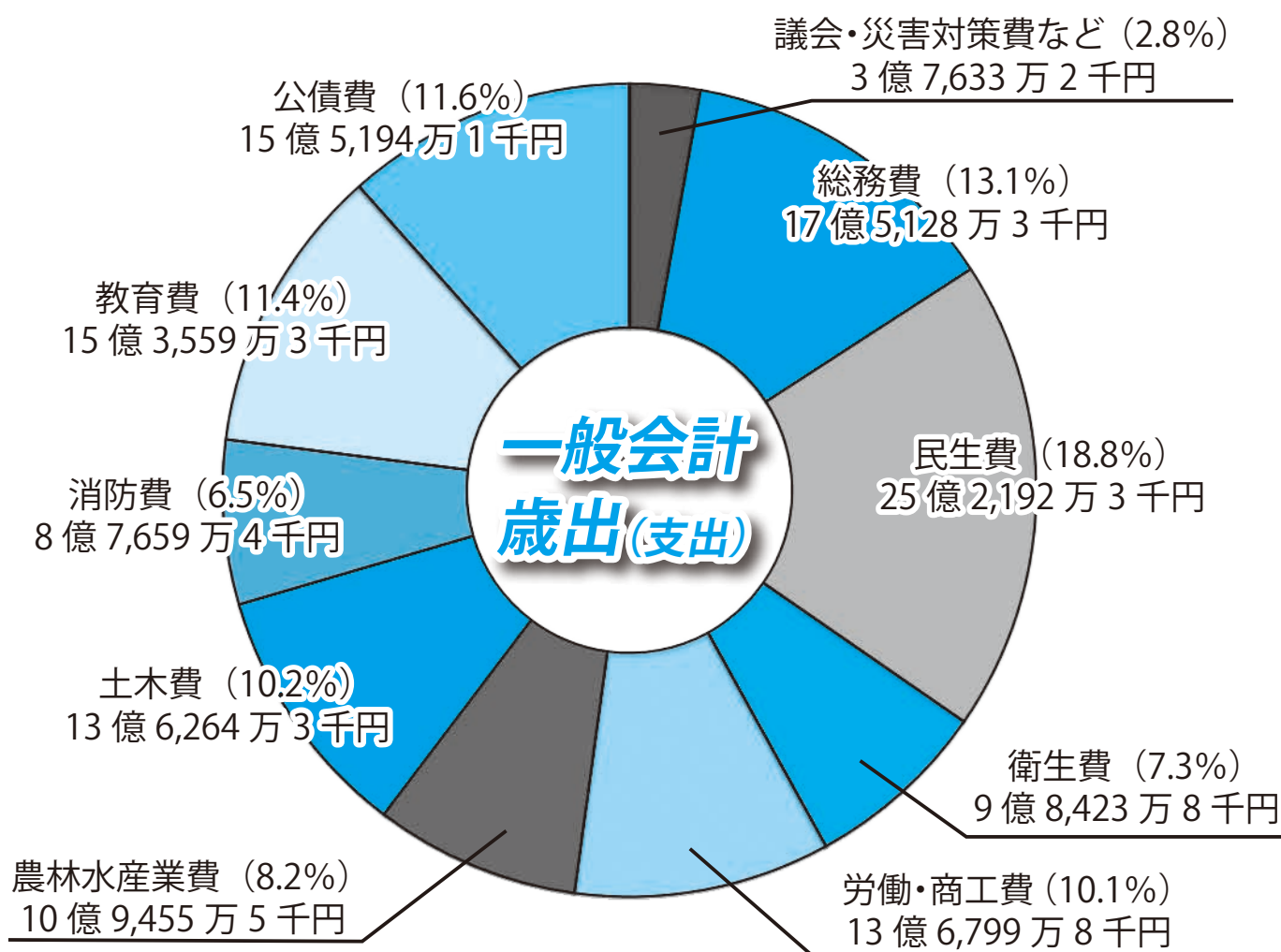
一般会計当初予算の推移



令和2年度 当初予算 総額 193億3,000万円

令和2年第1回定例会が、3月6日から13日までの8日間の会期で開催され、町からは、条例制定・改廃17件、令和元年度補正予算3件、令和2年度当初予算7件、報告1件、諮問2件、その他の議案27件が提出されました。

また、議会からは2件の委員会提出議案が出され、慎重な審議が行われました。



【令和2年度 各種会計当初予算】

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計					企業会計	
			国民健康保険	後期高齢者療	介護保険	農林業集落排水	公共下水道	水道事業	
予算額	134億 2,300万円	47億 8,580万円	17億 3,280万円	2億 3,650万円	22億 8,210万円	1億 3,860万円	3億 9,580万円	11億 2,385万7千円	
前年度比	5億 8,900万円	1億 6,714万円	-420万円	1,590万円	8,630万円	-450万円	3,980万円	3,384万円	

新規事業一覧

【一般会計】

(単位：千円)

事業名	予算額 (国県支出金)	事業目的・内容
チームビルディングツーリズム事業	3,850 (1,925)	地域資源の活用と継続的な関係人口の獲得を目的とした首都圏などの企業研修の場づくりを実施するとともに地域の人材育成を図り、地域での持続可能な仕組みづくりを行う。
人財育成支援事業	191 (-)	主査以下の職員に対し、PDCAサイクルを体感してもらい、日常業務の効率化を図る。
町ホームページ更新業務	6,000 (-)	高齢者や障がい者など、年齢的・身体的条件に関わらず、誰もが見やすく利用しやすい町の公式ホームページの作成を行う。
RPA実証実験	2,475 (825)	ソフトウェアのロボット技術によって定型的な事務作業を自動化するシステムの実証実験を行う。
国勢調査	11,670 (10,549)	人口、性別、年齢、配偶の関係、就業の状態や世帯の構成といった「人口及び世帯」に関する各種属性の調査を行う。
強い農業・担い手づくり総合支援事業	12,363 (10,303)	地域農業の担い手として経営発展の取り組みを行おうとする農業経営体に対して施設や機械導入の支援を行う。
森林環境譲与税事業	39,258 (-)	民有林における林業経営の効率化と森林経営の適正化を促進するため、町が森林所有者と林業経営者をつなぎ適正な森林管理を行う。
補助治山事業	30,600 (21,350)	藤生小塩地区地滑り対策のため、簡易法枠(かんいのりわく)工事を行う。
小規模事業者等活性化事業	500 (-)	町内に主たる事業所を有し、販路開拓・生産性向上・経営安定化などに積極的に取り組む小規模事業者などの支援を行う。
東武軸連携外国人観光客誘客促進事業	10,000 (8,000)	会津若松市・下郷町との連携により、本物の自然体験コンテンツを創出・提供を行い、滞在型観光の推進を行う。
町営住宅会下団地住戸改善事業	8,000 (3,840)	建築から30年以上経過している会下団地の大規模改修を目的とする実施設計を行う。
防災行政無線設備更新事業	167,695 (-)	災害時などに多様な情報伝達手段による住民への情報伝達を迅速に行える一斉送信システムの導入を目的として、本庁の防災行政無線親局設備の更新を行う。
山村留学事業	5,604 (2,802)	町内の小中学校の存続と地域活性化を目的として、都会からの子ども達の山村留学を実施するための基本計画作成を行う。
御蔵入交流館照明設備改修工事	333,606 (-)	老朽化が進んでいる照明設備のLED化などの大規模改修を行い、住民の文化伝統芸術活動の拠点として施設の適切な維持管理・運営を行う。
奥会津博物館企画展事業	1,229 (-)	地域の歴史を学ぶ機会と博物館の活性化を目的として、中世の奥会津に焦点をあてた特別企画展を実施する。
東京オリンピック・パラリンピック参画事業	16,720 (5,040)	人や文化の交流を通して地域の魅力を国内外へ発信するため、アルメニア共和国のホストタウンとして、大会終了後に選手団を迎えて、交流事業を実施する

議案第11号く12号

小豆温泉窓明の湯に関する条例

小豆温泉窓明の湯は、町民の福祉と健康の増進と観光事業の発展を目的として設置された施設ですが、利用者の動向を分析したところ、町民利用が多く、「低料金で町民が気軽に利用できる保養所としてほしい」との要望があったことから、町民の利用促進のため、地域住民に親しまれる保養所としての機能を前面に出し、これまでの窓明の湯条例を廃止し、保養所として位置づける条例改正を行うものです。

問

窓明の湯は平成30年4月7日に新たな施設としてオープンし、約2年しか経過していませんが、指定管理受託事業者の意見や提案はなかったのか。

答

指定管理受託事業者である共立メンテナンスとは、四半期に一度、経営状況や要望事項などの打合せの場を設けています。

その中で、町民の方々から、利用しやすい料金体系にしてほしいという要望があり、共立メンテナンスとの協議の結果、利用者増加に結びつけるため、利用料金を安くしました。

議案第14号

木材加工保管施設条例の改正

問

青柳区にあるチップ生産保管施設は、町の循環型社会の中核をなす施設であり、林業政策の一環で取り組んできましたが、今回の条例改正により、指定管理施設から除外することになるが、今後の考えは。

答

この生産保管施設では、平成21年度に導入した木材破砕機によりチップ生産をしていますが、チップの形状が不均一で燃料チップとして適合せず、改善にはさらに設備投資が必要になることから、チップ生産を中止することとしました。今後は、森林組合と協議しながら利活用方法を検討します。



チップ生産保管施設内にある木材破砕機

議案第18号

小豆温泉せせらぎオートキャンプ場の廃止

問

条例廃止後、既存の施設関係撤去の予定は。

問

施設の撤去を行わず、現状のままでも支障はないか。

答

すぐに撤去は行いません。今後はキャンプ場にこだわらず、団体などの提案などを受けながら活用方法を検討します。

答

支障はありませんが、夏場の周辺の草刈り、冬場は除雪を行うなど通常の維持管理はこれまで同様行います。



今後活用方法が検討される小豆温泉せせらぎオートキャンプ場

議案第46号

令和元年度一般会計補正予算(第7号)

商工費
少雪経済対策事業(指定管理料)

問

町内各スキー場の指定管理受託事業者に対して支出するものだと思いが、事業者の中には、町外のスキー場を運営しているところもあります。

答

今回の予算執行にあたり、地元への支払いを優先的に行うことを条件に指定管理受託業者に指導します。さらに、精算時に提出いただく収支明細などの書類を確認し、必要な経費に支出されるよう精査していきま

議案第49号

令和2年度一般会計予算

総務費
地域協議会委員報酬

問

地域協議会が町村合併時に設立してから14年が経過しますが、政策提案があつて、施策に反映したものはありますか。

問

総務費
チームビルディングツーリズム事業委託料

具体的な事業内容は。

答

首都圏の企業研修の場として、当町の資源を利用していただく事業です。経済や人の流れを本町に向け、都会から来

答

館岩地域の館岩幼稚園の保育所化提案や、公共交通の再編、さゆり荘の建設など、委員の意見をいただきながら計画を策定してきた経過があります。

いただいた社員の方々に町の魅力を知ってもらい、つながりづくりを行います。具体的には、広告、モニターツアーなどの企画をして、都会の企業へのPR活動を行います。

問

地域おこし協力隊の人員数と配置先予定は。

答

令和2年度は4人の地域おこし協力隊の配置を予定しています。川嶋さんと野村さんは、奥会津博物館に配置し、藍染技術を習得

していただき普及活動を行います。山田さんは、昨年度からの継続で、耻風地区の地域活力のためのまちおこし活動を行っています。

瀬川さんは、伊南地域全体のスポーツツーリズムの推進を目的に活動を行います。



南会津町で活動する地域おこし協力隊の4人写真左より、瀬川絢有さん、川嶋恵さん、野村美登里さん、山田雄大さん

民生費

特別養護老人ホーム設置資金借入金
償還補助金

問

昨年9月の定例会で社会福祉法人桜寿会に対し支援をすることが決定しましたが、支援に至るまでの経営陣の姿勢はどうなのか。

答

法人の理事長や事務局長から、理事会の内容を聞き取りしました。

経営状況を明らかにしたうえで、法人として何らかの支援が無いと継続できないという共通認識を持ったうえで、町に支援を求めたいという方針になったとのことです。

問

経営の責任者である理事からの資金提供はあったのか。

答

理事からの資金提供はないと聞いています。

問

設置責任者である理事が責任を負うべきところを町が支援していくということは今後、町として十分な精査が必要と考えます。

答

入所されている方や働いている方々の生活と介護の体制を将来に担保していく支援の形が望ましいと考えますが、町の考えは。

さまざまな課題と向き合った中で今回の支援を行う方針としましたが、町として今後の経営をしっかりと行っていただくよう法人への指導・監視をしていきます。

農林水産業費

有害鳥獣被害対策用品購入費

問

購入する内容は。

答

ワイヤーメッシュ柵と電気柵を併用した防護柵です。

問

設置予定距離と対象地域と財源は。

答

約9800メートルで、田島地域内9地区に無償貸与します。財源は県の補助金です。

農林水産業費

鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業報償金

問

1頭あたりの捕獲報償金はいくらか。

答

令和元年度は1頭あたり、1万3千円でしたが、令和2年度は1万8千円に増額する予定です。

農林水産業費

有害鳥獣被害防止対策事業補助金

問

事業の内容は。

答

町の単独事業で実施する電気柵の設置や、鳥獣追払い用の花火購入費に対し補助金を交付する事業です。

商工費

地域振興緊急対策事業補助金

問

事業の内容は。

答

地域内の消費者の購買意欲の向上、地域経済、商工業の活性化を目的として、10%、30%のプレミアム商品券を発行する事業です。

問

例年行われている事業ですが、効果をどのように捉えているか。

答

町外からの消費獲得も重要ではありませんが、町内の消費の拡大も重要です。地元の商工業者を利用していただき、できるだけ地元での消費をしていただくということで効果が出ていると考えます。

教育費

会計年度任用職員報酬（特別支援教育支援員）

問

各学校への特別支援教育支援員の配置基準は。

答

各学校からの要望に基づき、一校毎に職員が現場を確認し、ヒアリング調査を実施し、配置を決定してまいります。

答

すが、教員の負担軽減のためにしっかり配置すべきでは。

優先順位を決めながら、予算内での対応となるため、要望どおり配置されない場合があります。

教員の負担が大変であることは認識していただきますので、今後負担が多いというものがあれば対応を検討します。

問

要望がありながら、配置がされなかった学校があると聞いていま

要望がありながら、配置がされなかった学校があると聞いていま

3月定例会の議案審議では104件の質疑がありました。紙面の都合上、議会だよりでは一部のみ掲載しております。

本会議のようすは、インターネット（YouTube）で見ることができます。



南会津町議会中継：YouTube

総務委員会提出議案

国へ意見書を提出

採択

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を
求める意見書

福島県は、少子高齢化と人口の減少・流出が進み、震災当時と比較して生産年齢人口は約20万人も減少し、人手不足は深刻化しています。人手不足を補うための外国人労働者数も対前年比で約20%増加し、障がい者雇用数も県内民間企業で過去最高を更新、非正規労働者は雇用全体の約4割となるなど働き手の多様化も進んでいます。

これら、国籍、雇用形態の違い、障がいの有無などを理由に労働者を低賃金で雇用することがあつてはなりません。

どこで働いても、どのような就労形態でも、賃金は少なくとも生活できる水準を確保した上で働きの価値に見合った水準とすべきです。

また、人口減少による消費者の購買力の低下は、企業活動の縮小や賃金のデフレ化を招き、地域経済へのダメージと更なる経済の縮小が懸念されます。

そして、消費増税による物価変動への影響も無視できません。

よって、福島県の一層の発展を図るため、最低賃金法の趣旨を踏まえ、福島県最低賃金の引き上げと早期発効などを強く求めます。

文教厚生委員会提出議案

県へ意見書を提出

採択

県立南会津病院の医師確保充実強化を
求める意見書

南会津地方唯一の病院である県立南会津病院は、県による医師配置・派遣を受け、地域住民の安心な暮らしを支えるために大変重要な役割を果たしています。

全国的に医師不足や偏在化が叫ばれる中、福島県は平成28年12月に少子高齢化や高齢化社会の進行による医療・介護の需要増大などを見据え、その課題解決のため福島県地域医療構想を策定しました。

この構想のなかでは、南会津地域において必要な医療機能の確保と、不足している診療科の医師確保に向けて取り組むことが示されています。

しかしながら、平成31年には南会津病院の内科医と整形外科医が合計3名減員となり、また本年4月からは常勤の整形外科医が非常勤対応になると聞き及んでいます。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるには安心して享受できる地域医療体制が不可欠であることから、県立南会津病院の常勤医師配置による充実強化を求めます。

（一部抜粋）

（22頁に意見書提出時の記事があります）

一般質問



9人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

1 馬場 浩 議員・・・10分

- ①新設の第三セクター「株式会社みなみあいづ」
- ②林業成長産業化地域創出モデル事業
- ③県が進めている高校改革
- ④気候変動適応計画

2 楠 正次 議員・・・11分

- ①交流人口増加対策

3 室井 英雄 議員・・・12分

- ①田島地区中心市街地活性化事業における、まちなか拠点整備
- ②南会津町公共施設整備等総合管理計画

4 湯田 芳博 議員・・・13分

- ①住民自治と総合振興計画樹立・検証のあり方
- ②南会津病院における医療体制の取り組み
- ③みなみやま観光株式会社の経営実態と今後のあり方
- ④町有施設の指定管理基準のあり方

5 湯田 良一 議員・・・14分

- ①介護職員の育成をすべきでは
- ②高齢者の運転者に対して安全装置の設置に支援を

6 湯田 哲 議員・・・15分

- ①少雪経済対策の更なる充実を
- ②「ICT戦略室」(仮称) 専門課を創設しICTコスト削減を推進せよ
- ③今後の公共施設の大規模な設備更新予定は
- ④役場機能保持のためのテレワークの環境づくりを
- ⑤児童生徒が自宅でテレ授業を受けられる環境づくりを

7 川島 進 議員・・・16分

- ①町有財産(土地・建物)の未登記物件は
- ②館岩高齢者生活福祉センター「高夕」は居住棟の利用率向上を

8 渡部 訓正 議員・・・17分

- ①地域医療を守るため
- ②町民の安全・安心をめざして

9 大桃 英樹 議員・・・18分

- ①町の宣言「地域の力はみんなの力」実現のために
- ②介護保険事業

※丸数字左に●がある項目が掲載された質問。それ以外は紙面の都合で掲載できませんでした。
内容は南会津町議会中継 (YouTube) で見るすることができます。

令和2年3月定例会の一般質問は、11～12日の2日間にわたり行われました。
一般質問は、議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



馬場 浩 議員

新設第三セクターの運営方針は

町長＝必要に応じた助言支援をしていく

問

経営の民間感覚（経営判断能力）の醸成をどう促進していくのか。

町長

準民間企業の経営ノウハウの研修をしたり、いろいろ習得しているところなので、広域性と収益性、地域振興の観点から町が関わりを持つことは必要だが、深く関与することは民間活力を阻害しかねないと考えます。

町としてはこれまで同様、新会社に対して必要に応じた助言支援をしていきたいと考えています。

問

新会社に民間及び第三者のチェック機能を導入する考えは。

町長

新会社は3社が統合することに伴い、組織が大きくなることから、町内の事業経験者や有識者などの協力を得て

会社の運営状況や各種事業に対して助言支援をいただく体制づくりの検討を進めています。

町内森林の伐期対策は

町長＝伐採・再造林を計画的にすすめる

問

町内の森林は町有林、私有林とも伐期になっているが、それに対する事業計画は。

町長

町では、将来にわたって持続可能な町内の森林資源の活用と育成の観点から伐採・再造林を計画的に進め、国・県などの関係機関と連携し、町有林の事業量と発注量を維持確保するとともに、私有林の森林整備なども推進します。



令和2年4月1日にスタートした第三セクター「株式会社みなみあいづ」

その他の質問

- ・県が進めている高校改革
- ・気候変動適応計画



楠 正次 議員

町内スキー場の今後は

町長＝指定管理者と協議し慎重に対応

問

今シーズンは全国的に降雪量が少なく、町内の4スキー場の営業実績も非常に厳しい状況です。

町長

県内の主なスキー場の入込状況は下記のとおりで、一部スキー場

を除いて減少しています。

町内4スキー場は長年地域の雇用と経済を支えてきましたが、今後の経営は、雇用や地域経済への効果、季節従業員の確保などの要因の変化を見極め、判断する必要があります。

指定管理者との協議を踏まえ、慎重に対応します。

観光大使制度創設を

町長＝先進地の事例を調査研究する

問

交流人口を増やすために、今後さらに観光資源に磨きをかける必要があると考えます。

町長

観光客の入込客数の推移は下記のとおりです。

観光大使制度化は先進地の事例などを調査研究します。

観光客の入込数の推移と観光振興のための観光大使制度創設の考えは。

県内スキー場入込数

スキー場名	2018年度 シーズン	2019年度 シーズン
だいくら	54,064人	33,774人
たかつえ	162,380人	131,710人
高畑	26,469人	17,529人
南郷	18,286人	5,069人
あだたら高原	24,645人	19,585人
アルツ磐梯	124,438人	44,120人
猪苗代	107,243人	19,859人
猪苗代リゾート	49,400人	14,591人
グランディ羽鳥湖	46,314人	33,898人
グランデコ	90,336人	121,161人
沼尻	44,767人	17,053人
猫魔	32,457人	76,918人
箕輪	44,967人	76,419人

※人数はオープンから2月末までの実績

南会津町への観光客入込数の推移

年	人数
平成19年	1,430,819人
平成24年	1,002,293人
平成29年	917,195人

びわのかけを総合運動場に

町長＝全天候型の陸上競技場を検討

問

本町は首都圏に近く、朝夕屋外環境が特に過ごしやすいといわれます。

町長

現在「南会津を拓く最重点要望」として南会津地方のスポーツ振興のため、県営体育館の整備を要望しています。

温暖化の影響から企業や学生の夏季合宿地が求められています。

これらの動きを注視して全天候型陸上競技場の改修を含めて検討します。

全天候型トラックを設置してびわのかけ運動公園を総合運動場に整備する考えは。



室井 英雄 議員

田島地区中心市街地活性化は

町長＝提案内容を受け止め検討

問

中心市街地活性化事業検討委員会から提出された報告書の内容は。

町長

田島上町地区の石造り建築物は飲食サービスを中心に、展示などの公益性の高い用途に活用し、日本家屋はゲストハウスとして観光情報発信につなげることで提案されています。

問

提出された報告書に対し、町の考えと今後の取り組みは。

町長

土地・建築物の取得や建物の改修に多額の費用を要することから、財源などの検討はもとより、町民の参加が得られるか、事業を運営する事業主体の選出は十分議論をしていく必要があると考えます。提案いただいた内容を真摯に受け止め、検討を重ねます。

問

祇園祭と関連させた活用のか考えは。

町長

祇園祭の運営にあたる産土奉賛会や関係団体などの意見を伺い、町に施設の確保の協力を求める状況に至れば検討します。

計画に基づく消防屯所の建て替えは

町長＝再編状況を踏まえ検討

問

消防団屯所の建て替えに明確な基準はあるか。

町長

一律した基準はありませんが、町公共施設等総合管理計画策定にあたっては、おおむね35年を経過する建物で、現状確認し、建て替えとしています。

問

消防団員の確保が難しくなり、部の統廃合が懸念される中、計画どおり実施できるのか。

町長

屯所や車両などの整備更新は、消防団組織体制と密接に関連があることから、消防組織の再編状況を踏まえ、検討します。

問

今後7年間のうちに8屯所を建て替える計画となっているが財源は。

町長

過疎対策事業債や緊急防災・減災事業債などの地方債を活用しますが、国の補助制度などの効果的な財源の情報収集に努めます。



利活用が検討されている石造り建築物
(田島上町地内)



湯田 芳博 議員

総合振興計画樹立と検証は

町長＝審議会において客観的評価を行う

問

南会津町総合振興計画

は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と密接に連携するものであり、絶え間なく実態と目標の検証を行い、随時必要な施策展開を実行すべきものと考え、次の点を伺います。
①計画を検証するための実態把握体制は。
②総合振興計画施策マネジメントシート作成内容の信憑性は。

町長

町役場事業担当課で検証を行い、総合振興計画審議会において客観的な評価を行なっており、役割は果たしています。

みなみやま観光株式会社の経営実態は

町長＝町が100%出資

問

「みなみやま観光株式会社

社」は出資全額が南会津町であり、地方自治体と民間の団体・企業の共同設立という第三セクター法人の定義づけから見ると現在の経営体制は適法か。

町長

みなみやま観光株式会社が町100%の出資であっても違法とは認識していません。

南会津病院の位置づけは

町長＝郡内唯一の救急告知病院

問

「福島県立南会津病院」は

南会津地方の自治体にとって地域医療体制上どのような位置づけにされているか。

町長

県立南会津病院は南会津地方唯一の救急告知病院です。

このため、郡内4町村が「中山間医療」の充実強化を要望しています。

問

南会津町総合振興計画の基

本目標（政策）には「早期医療の充実を図る」とあるが、早期医療の充実環境をどのようにイメージされているか。

町長

早期医療の充実には、医療スタッフの安定確保と公共交通網による通院体制の構築が重要です。

その他の質問

・町有施設の指定管理基準のあり方



湯田 良一 議員

介護職員の育成をすべきでは

町長＝介護保険事業計画の中に盛り込む

問

町内の介護施設では介護職員不足に悩んでいませんか。

今後、団塊世代の方の施設利用希望者が多くなると予想され、職員のローテーションなどに對して頭を悩ませ対応されています。

職員の高齢化なども考えればますます不足すると予想され、介護職員の育成を図る大事な時期で、支援策が必要と思うが、町の取り組みは。

町長

町内の介護施設は、お

むね定員を満たし、経営に影響はないと認識しています。町の定期的な現況調査では「休暇が取れない」「時間外勤務が増えた」という声があります。

町では、「介護実態調査」と「介護予防ニーズ調査」の2つの大規模調査を実施しており、その結果を踏まえ、「第8期南会津町介護保険事業計画」の中で、人材確保への具体的な支援策を盛り込みたいと考えています。

高齢者の交通安全対策に支援を

町長＝国の「サポカー補助金」制度を周知

問

高齢者が運転する車両への安全装置の設置に対し、他の自治体では助成している事例があります。

国でも自動ブレーキの義務化へ移行していきます。社会問題になっている高齢者の交通事故対策に向け、支援をする考えは。

町長

令和元年中の町内でのアクセルとブレーキの踏み間違い事故は、人身0件、物損3件でした。政府では高齢者の事故防止対策として「サポカー補助金」制度を閣議決定し、安全装置などの設置に補助を受けることができるので、今年3月から申請受付が開始されました。

町では国の制度を有効に活用いただけるよう周知を行い、高齢者の交通事故抑止に努めます。

用語

※1 サポカー補助金

安全運転サポーター車の導入などを促進すること、高齢運転者の安全対策を行うことを目的として、ペダル踏み間違い急発進等抑制装置などの安全装置の導入に対して交付する補助金。



湯田 哲 議員

スキ一場支援、決定経緯と財源は

町長＝少雪という特殊な要因で決定、除雪予算の組み換え

問

先日の全員協議会で、少雪経済対策の説明がありました。

町の予算でスキー場の指定管理者へ過去3年間の収支の平均値まで補てんする支援策は、理解できません。方針決定までの経緯と財源処置は。

町長

この雪不足でオープン日の延期や、南郷スキー場に至っては1月の営業日が10日間でした。

各指定管理者から「スキー場経営が深刻な状況なので、町の支援をお願いしたい」との相談を受けました。

問

雪不足の影響は、指定管理者の努力ではどうにもできない特殊な要因で、各スキー場への支援を早急に調査、検討した結果今回の支援となりました。

財源措置は、今年度の除雪委託料の支出が極端に少なくなり、その予算の組み換えにより対応します。

問

冬季雇用者には、今回のように給料が激減しても保証はありません。

各スキー場に対し給料保証として予定額の何割程度が支払うように指導する考えは。

町長

本来従事するはずだった従業員に対して、何らかの手当の支払いをするよう各指定管理者へお願いします。

施設設備更新手エツクは誰

町長＝担当課が行っている

問

今年、御蔵入交流館の照明

設備改修工事（LED化）に3億3360万円が予算計上されています。

更新内容の確認には多くの専門的能力が必要で、

そのチェック作業は誰が行い、他の自治体なども参考にしていきますか。

町長

施設担当課で行っています。

大規模な施設修繕や設備更新では、概算事業費の算出にあたり、他自治体の同様な設備更新事業費や事業内容、設計業者、工事施工業者なども参考にしています。



南郷スキー場のようす（令和2年2月中旬撮影）

その他の質問

- ・「ICT戦略室」（仮称）専門家を創設しICTコスト削減を推進せよ
- ・役場機能保持のためのテレワーク環境づくりを
- ・児童生徒が自宅でテレ授業を受けられる環境づくりを



川島 進 議員

町有財産の未登記物件は

町長＝未登記物件の解消に努める

問

町有財産（土地・建物）の未登記物件の件数は。

町長

令和2年2月月末現在で、土地が1378件、建物はありません。

問

登記ができない理由は。

町長

主な要因は、道水路の分筆漏れ、相続手続きや抵当権抹消に関するものです。登記可能なもの、困難なもの、非常に困難なものに分類し解消に努めます。なお、平成28年度は14件、平成29年度は11件、平成30年度は39件、令和元年度は2月末現在で10件解消しました。

「高夕」の利用率向上を

町長＝「まちのお知らせ」等に掲載し周知を図る

問

ここ数年、館岩高齢者福祉センター「高夕」の居住棟の利用者が少なくなっています。利用率の向上対策について町の考えは。

町長

利用者は年々減少傾向にあります。居住棟の定員は9世帯10人ですが、令和元年度の利用者は4世帯4人です。利用者減少の大きな要因は高齢化に伴い、自炊などが困難となった方、要介護となり特別養護老人ホームや介護施設などへ入所される高齢者の増加によるものです。「まちのお知らせ」や「広報みなみあいづ」への掲載や民生委員への協力依頼を継続するほか、社会福祉協議会や在宅介護支援センターなどの関係機関と連携を密にして、利用率の向上に努めます。

館岩高齢者福祉センター「高夕」利用状況

年度	入居者数
平成26年度	5人
平成27年度	7人
平成28年度	7人
平成29年度	4人
平成30年度	6人
令和元年度	4人



館岩高齢者福祉センター「高夕」



渡部 訓正 議員

県立南会津病院の医師確保を

町長＝署名活動に取り組む

問

県立南会津病院は郡内

唯一の総合病院で、地域医療の中核です。

本年4月1日から、整形外科医師が常勤で無くなるとの話があります。

整形外科が常勤で無くなれば常勤の診療科は3科となり、地域医療の衰退に繋がり、地区住民の生存にも関ります。

町の対応は。

町長

整形外科が非常勤体制

に、内科は常勤5名が4名になるとの情報を得て医師確保の要望活動を町独自と、郡内4町村・議会と合同で行ってきました。

問

非常勤となれば、手術や

入院は出来なくなり、会津若松市などへ通院せざるを得なく、患者はもとより家族も送迎で仕事を休むなど、大変な負担増となります。

町の考えは。

町長

常勤医師の配置見送り

は、南会津地方の地域医療が重大な事態となり影響は計り知れないと危惧しています。今後も県への働きかけを強めます。

問

これまで県は、「南会津

病院は、へき地中核病院として充実に向け取り組んで行く」と言ってきましたが、まったく偽りではないかと言わざるを得ません。

常勤医師廃止に対し、強く反対の意思表示をすべきです。

医師確保の署名活動を町・郡で取り組み、県に働き掛けることが必要と考えます。今後の対応は。

町長

南会津地域の住民が一

丸となつての署名活動は、地域医療を担う中核医療機関であり、住民の命と健康を守るという大きな役割を担っていたためにも有効な手段であると考え、町が中心となり他町村とも連携し取り組みます。



県立南会津病院

その他の質問

・町民の安全安心をめぐって



大桃 英樹 議員

町民と共に魅力発信を

町長＝情報を提供しやすい方法を検討

問

地域の魅力を発信するためには広報特派員制度を設け、町民と共に作るコミュニティペーパー、広報事業を目標としてはどうか。

町長

「広報みなみあいづ」には町民からさまざまな情報提供があります。身近な地域の情報収集や発信はコミュニティペーパーの方がより効果的と考えます。一方で、地域ごとに取り組むには運営に課題が想定されます。今後も見やすい紙面づくりに努め、町民の皆さんに情報を提供しやすい方法を検討していきます。

用語

※山村留学

都市部の小・中学生が長期間にわたって親元を離れ、自然豊かな農村や漁村で生活すること。

館岩地域少子化対策は

町長＝收支改善と計画的な修繕を指導

問

館岩地域では少子化が進み、小・中学校の学校運営に課題があると考えます。町の考えは。

教育長

館岩小・中学校は地域にとつて必要不可欠な学校です。

また、より良い学習環境のためには一定規模の児童生徒数が必要であることから、地域の皆さまと十分話し合

いを持ち検討していきます。

なお、他地域から子どもたちを受け入れることも一つの方策であることから、令和2年度より山村留学事業の候補地の一つとして検討していきます。

特別養護老人ホームの経営状況は

町長＝收支改善と計画的な修繕を指導

問

郡内の特別養護老人ホームは老朽化が進んでいますが、経営状況は。

町長

郡内にある5つの特別養護老人ホームを運営している社会福祉法人南会津会の平成30年度決算は2億2530万円、黒字となっています。有価証券の売却により黒字決算になっ

たもので、経営状況は介護報酬の改定などにより厳しい状況です。今後は施設老朽化による多額の修繕費が必要となることから、收支改善と計画的な修繕を指導していきます。

第1回臨時会

令和2年1月28日

令和2年1月28日に令和2年第1回臨時会が開催されました。

町からは報告1件、工事請負契約に関する議案1件が提案され、審議の結果、全会一致で可決しました。

議案第1号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名 令和元年災大橋堰災害復旧工事
- ◆ 工事内容 頭首工 一式
- ◆ 請負金額 7,425万円
- ◆ 工事場所 大橋字百刈地内
- ◆ 契約の相手方 南総建株式会社



台風19号の影響で被災した大橋堰

問

工事期間を見ると令和2年3月31日までとなつていますが、降雪が少ないとはいえ、これからの時期は増水が心配されます。安全に工事ができるのか。

答

自然条件などを考慮しながら施工業者と協議し、場合によっては繰り越しも視野に入れて工事を実施します。

なお、工事内容は現況施設が木工沈床となつているところを改良沈床という形で約248mにわたって復旧工事を行います。

委員会活動報告

産業建設委員会

産業建設委員会

渡部訓正・湯田良一・馬場浩
高野精一・山内政

少雪対策の検討と現地調査を実施

2月13日(木)、産

業建設委員会は、暖冬による記録的雪不足への対応検討と現地調査を行いました。

少雪対策の検討

令和元年度シーズンの降雪が極端に少ないなかで、所管する委員会の中で考えられる対策の意見交換を行った結果、次のことをまとめました。

- ① 工事や業務の発注を極力早く行う。
- ② 除雪待機保証料の受給対象でない町道支線などの除雪業者への支援。

現地調査

田島都市環境センター

この施設では公共下水処理と放射能簡易測定を実施しています。

公共下水道(田島処理区)は、接続可能人数は3900人ですが、現在の接続は3000人(約76%)となっております。

公共下水道の収支状況は、一般会計の繰出しが総予算の50%を占めていることから、収支改善が必要です。

今後は、接続加入者の拡大と維持経費の節約も必要と考えます。



田島環境センターの施設概要説明のようす

南会津樹木育苗センター

令和2年1月24日に住友林業(株)が長野区内に全国6カ所目となる苗木生産施設を設置しました。

苗木移植・移動が楽にできるムービングベンチシステムや水散布を自動で行う自走式灌水機を導入することで、作業員の負担軽減を行つていきます。

年間30万本のカラマツ苗木生産を計画しており、今後の林業活性化に期待が持てます。

総務委員会

湯田 哲・川島 進・湯田 芳博
菅家 幸弘・星 光久・室井 嘉吉

雪不足による経済的影響を調査

令和2年2月10日

(月)、総務委員会は、
暖冬による記録的雪不足

による経済的影響や
町民生活の調査とそれ
らの対策について検討
しました。

济的影響や対策の意見
交換を行い、次のこと
をまとめました。

少雪対策の検討

スキー場の入込客数
や宿泊者数が大幅に減
少となることが見込ま
れることを踏まえ、経

- ①スキー場は来シーズ
ン(グリーンシ
ーズン)も含めて
検討する。
- ②予算執行を早める。
- ③新たな融資制度を
検討する。



雪不足となった南郷スキー場のようす
(令和2年1月15日時点)

町内宿泊施設などの宿泊パックリフト券販売額集計表

(単位：円)

スキー場名		12月	1月	合計	増減比
だいくらスキー場	平成30年度	292,500	1,330,500	1,623,000	約90%減
	令和元年度	0	165,600	165,600	
	年度比較	-292,500	-1,164,900	-1,457,400	
たかつえスキー場	平成30年度	872,500	2,883,000	3,755,500	約20%減
	令和元年度	593,000	2,414,400	3,007,400	
	年度比較	-279,500	-468,600	-748,100	
高畑スキー場	平成30年度	68,500	546,000	614,500	約58%減
	令和元年度	0	254,300	254,300	
	年度比較	-68,500	-291,700	-360,200	
南郷スキー場	平成30年度	15,000	228,500	243,500	100%減
	令和元年度	0	0	0	
	年度比較	-15,000	-228,500	-243,500	
4スキー場 合計	平成30年度	1,248,500	4,988,000	6,236,500	約45%減
	令和元年度	593,000	2,834,300	3,427,300	
	年度比較	-655,500	-2,153,700	-2,809,200	

※宿泊パック1枚の料金はパックの種類により異なります。(2,500～3,000円)

資料提供：南会津町観光物産協会

文教厚生委員会

大桃英樹・丸山陽子・五十嵐芳道
室井英雄・楠正次

教育委員との懇談会を開催

令和元年12月18日（水）、文教厚生委員会は町の教育の課題や少子化により児童生徒の減少が見られる館岩地域の教育のあり方方を議題として教育委員との懇談会を開催しました。

少子化著しい館岩地域の現状

館岩地域における児童生徒の在席人数見込みは下表のとおりです。

文教厚生委員会は、昨年度館岩小学校、館岩中学校の学校訪問を行い、保護者の皆さんの複式学級への不安や部活動の維持、負担増について課題があることに注目してきました。

館岩地域小・中学校在席人数見込み

年度	館岩小学校	館岩中学校	合計
令和元年度	39人	30人	69人
令和2年度	29人	30人	59人
令和3年度	30人	26人	56人
令和4年度	29人	22人	51人
令和5年度	24人	18人	42人



町教育委員との懇談のようす

地域として今後のあり方は

懇談会では、「これまでには統合により対応してきたが、今後は地理的な課題もあり統合は難しい」、「小・中だけでなく幼稚園も一緒にして、幼・小・中一貫の教育ということも一つの方法として考え

られる」などの、意見が出されました。町では、今後地域の皆さんと懇談会などを持ち、館岩地域の教育のあり方について検討していくとともに、令和2年度から「山村留学事業」を計画し、他地域からの子どもたちを受け入れることを計画しています。

文教厚生委員会としても、館岩地域の教育のあり方について、小・中一貫教育や山村留学制度の導入を視野に入れないながら、より加速が予想される少子化の状況を鑑み、少人数教育に関する効果の研究を重ねていきます。

介護保険制度と町の現状

令和2年2月17日（月）、文教厚生委員会は高齢化率の上昇や*2025問題が懸念される介護保険制度について、健康福祉課から制度の説明を受けるとともに、町の現状と課題に関する学習会を行いました。

また、郡内の特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人南会津会を訪問し、運営状況を調査しました。

調査結果

学習会と社会福祉法人南会津会訪問から、次の4つの課題があることが分かりました。

- ① 介護人材の不足（従事者、育成する人材、事業運営者）
- ② 地域での支え合いの体制
- ③ 増加する介護給付費を支える財源
- ④ 特別養護老人ホームの老朽化と経費増大

高齢化率が今後も上昇する社会情勢にあつて介護の充実は地域全体の課題です。

町の高齢化率は40%を超える状況にあり、今後は「社会福祉の視点に立った地域のあり方」を町全体で模索することが求められます。

用語

*2025問題

2025年ごろまでに団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となることにより、医療費など社会保障費の急増が懸念される問題。国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えることになる。

少雪経済対策を



議会から町長へ要望書を手渡しするようす
(左から大桃文教厚生委員長、渡部産業建設委員長、湯田総務委員長、室井議長、大宅町長、楠副議長、山内議会運営委員長)

町議会は、令和2年3月6日(金)、今回の雪不足による経済などの影響を深刻に受け止め、各常任委員会が調査を行い、対策事項をとりまとめた「少雪における経済対策」について町に要望書を提出し、早急な対応を求めました。
町からは同月13日に要望に対する回答書が提出されました。(下記のとおり)

【少雪における経済対策に関する要望事項と町当局からの回答】

- ①少雪によりスキー場が稼働しなかったため、待機を余儀なくされ今シーズン予定されていた収入が望めなくなった従業員に対して、何らかの手当が支給されるよう指定管理受託事業者に対し、配慮をお願いしたい。
⇒何らかの手当が支給されるよう指定管理受託事業者に強く働きかけます。
- ②予算計上されているものは早期の予算執行をするよう手立てを講じてほしい。
⇒早期発注、早期執行に努めます。
- ③今後、これまでに経験したことのない災害なども予想されることから、新たに危急を要する事態に対応できる貸付制度などの創設を研究いただきたい。
⇒今後、調査検討を進めます。

県立病院の医師確保を



県総務部 金子次長(右)に意見書を手渡しする
室井議長(中央)と大桃文教厚生委員長(左)

町議会は、令和2年3月27日(金)、3月定例会で可決した「県立南会津病院の医師確保充実強化を求める意見書」を県総務部次長をとおして県知事に提出し、医師確保を強く求めました。
今後とも、県の動向を注視しながら、県立南会津病院のあり方について議論を重ね、医療体制充実強化を求めていきます。
(8頁に意見書の内容掲載があります。)



宮城県利府町議会 行政視察研修のようす

令和2年1月15日（水）、宮城県利府町議会が行政視察研修で来町されました。
 本町の議会運営委員会が議会基本条例制定の効果などの議会活性化の取り組みなどを説明し、意見交換などを行ったほか、文化複合施設の取り組みとして「御蔵入交流館」の建設にあたっての経過や財源、運営方法について視察研修が行われました。

宮城県利府町議会が来町

全国町村議会議長会自治功労者受賞おめでとうございます

南会津町議会から山内 政議員が、在職15年以上の功績が認められ、全国町村議会議長会会長より自治功労者表彰を受賞されました。

今後も町政進展のため、一層のご活躍を期待いたします。



山内 政 議員

【表紙の紹介】「株式会社みなみあいづ」



開所式のようす



あいさつを述べる渡部社長

令和2年4月1日、新たな第三セクター「株式会社みなみあいづ」が開所しました。
 「みなみやま観光株式会社」「会津高原リゾート株式会社」「会津高原フレンドカントリークラブ」の3社が統合した新会社です。
 今後、町民の福祉と交流人口の増加につながることを期待されます。

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



右から佐藤 良行さん(郡山市出身)、茂子さん(南会津町出身)
 東京都品川区から南会津町(川島区)へU・Iターンし、
 現在6年目です。
 二人で家庭菜園やバウンドテニスを趣味に過ごされています。

Q 南会津町に来られる前はどちらにお住まいでしたか？

良行さん

東京都品川区

です。

Q U・Iターンをするきっかけはなんですか？

良行さん

東京で二人とも郵便局で働いていま

したが、退職を機に自分たちのふるさとに戻りたいと思っていました。

私の実家が郡山市で、妻の実家が南会津町でどっちにしようかと悩みましたが、妻の母親が高齢だったこともあり、南会津町に戻ることになりました。

Q 南会津町に来られて良かったと思うことはなんですか？

良行さん

東京に住んで

いた頃は、お互いに趣味が無かったのですが、私は2年前から囲碁クラブに入れていただき、友人もできました。

昨年3段になり、

新聞に掲載され、それを見た方から声をかけていただきました。

都会にはないふれあいだと感じています。

Q U・Iターンするにあたり不安はありましたか？

良行さん

なじめるか不安でしたが、お義母さんが近所の方と友好を築いてくれたので、地域に早くなじむことができました。

Q 南会津町の魅力はなんですか？

良行さん

四季折々の山

菜や野菜づくりがとても楽しいです。

近所から差し入れをいただくなど、一度友人になると暖かいふれあいがあるところが大変良いところです。

Q 町行政に求めることは？

良行さん

交通手段の充実です。

車いすや手押し車が必要な高齢者が自由に乗降できるバスがあるといいですね。

Q 最後に一言どうぞ。

良行さん

町でやるサークルなどにできるだけ参加し、もっと町に溶け込みたいと思います。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴する手続きは簡単です。
 本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。
 傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

令和2年第2回定例会
6月5日(金)開会予定

議会広報委員会

委員長 丸山 陽子
 副委員長 馬場 浩
 委員 五十嵐芳道
 川島 進
 渡部 訓正
 湯田 哲